

2025 第 1, 2, 3 RUTC 永遠の答えの始まり (33) (社)世界福音化伝道協会 www. weea. kr		
2025 年 8 月 16 日 週間祈りカード		
△産業宣教/金土日時代のやぐら 29 癒やしは基本使命である(マタ 8:17)	△RT と TCK 伝道学/三つの庭のモデル 29 多民族の祝祭(使 2:9-11)	△核心 なぜ、答えがないのでしょうか(使 1:1-8)
△皆さんが礼拝を差し上げるときや、礼拝するとき、最も重要なのは今日の答えが何かを見つけることだ。それも生きている答えでなければならない。 「癒やしは基本使命だ」 癒やしに関する私の答えを見つけなければならない。牧師が人を癒やすことができる答えがないならば本当に困る。一般信徒として病人に会ったとき、答えを持っていなければならない。パウロも霊的問題がある人を癒やしてキリストを伝えた。それゆえ、癒やしは基本使命だ。それなら、今日、私はどんな答えを握るべきなのか。「これ以上、病まないように癒やすこと」が重要だ。 1. 個人癒やし -根源癒やし、 -刻印されたこと癒やし、 -再創造する癒やしをしなければならない。 2. 産業癒やしは生活を癒やすこと。 根源癒やしを維持するためには、生活を癒やさなければならない。 サタンの戦略 12に十分に勝つように、また、ここから抜け出すようにさせなければならない。これをそのまま置いていて使 13、16、19 章になったのだ。これが生活になって産業になった。今 3 団体がする運動が産業になっている。日本は偶像システムが産業になっている。総理もそこに行ってお辞儀をする(政治化)。 -ネフィリムを癒やすのだ。私はどのように働くのか、答えを見つけるのが今日の答えだ。 3. 現場癒やして重要なのは教会信徒の癒やしからだ。必須の条件だ。サタンの戦略5つに教会が関わっている。 1. 「どうして異邦人の家で食事をするのか」 2. 宣教地で教会信徒が「ユダヤ人の法を守らなければ」 3. 今までしてきたこと、私の考え、主張が重要(Ⅱコリ 10:4-5)。サタンが作った要塞。 4. ヨハ 16:11-14 にサタンがこの世を支配する者 5. 世の中がこと好きで、お金ならすべてだと言う。サタンがこの世の神。これを癒やすことができる人(リディア、ヤソン、プリスカ)をパウロがあちこちに立てた。ティラノに行つて弟子を別に立てたのだ。最後のローマまで。 □結論_証人 病気になったのは、癒やし使命の始まりだ。神様がなぜ私を病気にされたのか、私がなぜがんになったのか。証人。 △今日も、明日も鍵は、生きているみことば、生きている答えを発見しなければならない。神様は私たちを証人として呼ばれ、地の果てまで行けるように力を与えと言われた。ほかのことではできないので「ただ」と言われた。それゆえ、私たち 1 人が重要で、私たちが生きる生活が重要だ。	□序論_小さくて正直な祝祭 多民族レムナントに小さくて、それでも正直な祝祭が起きなければならない。この多民族が来て、自分の人生の最も重要な答えを得なければならない。それゆえ、祝祭なのだ。 □本論 1. 使 2:9-11 ミッション祝祭 1) 使 2:1-4 多民族に三つの祭りを話しながら五旬節を話さなければならない。 2) 使 2:17-18 礼拝-「息子や娘は預言し、青年は幻を見、老人は夢を見る」未来だ。 3) 使 2:9-11 15 か国が来た。その国に関するミッションを持って帰らなければならない。 2. 癒やし祝祭 1) 使 3:1-12 これは全世界にいる民族に伝えられるメッセージだ。神殿の美しの門は世界的な場所だ。祭りの時ごとに全世界のユダヤ人やユダヤ人と関係している人が来る。そこでナザレのイエス・キリストの名によって足の不自由な人が起きたのだ。 2) 使 8:4-8 捨てられた多民族-サマリアに多くの多民族が来ているが、ユダヤ人は共存しなかった。ここに福音が宣べ伝えられて癒やし祝祭が起こった。 3) 使 8:26-40 エチオピアの宦官が神様のみことばの巻物を買って読んで、キリストについて質問した。「聖霊がピリポに、主の霊が」すばらしい癒やし祝祭が起こった。 3. 派遣祝祭 1) 使 17:1 会堂に行った。未来の世界を置いて 2) 使 18:4 3) 使 19:8 全世界を置いて弟子を派遣するのだ。 □結論_メッセージ 私たちは常にみことばを受けた時は今日の答えを見なければならない。それゆえ、今回、来た人と大統領や総理に感謝、または励げますあいさつを送る必要がある。	□序論_祈りの答えがない理由 先に知るべきことを知ってこそ、決定を正しくして、先にすべきことが出てくる。すると、答えはついてくる。 -祈りの答え、みことば成就、世界福音化は今でも成り立っている。これのほかは答えではない。ほかのことは過程だ。 先にすべきこと 1 先に確認(CVDIP) -あらかじめ見えるみことば(C)、あらかじめ持つようになるビジョン(V)、あらかじめ味わうようになるドリーム(D)、あらかじめ征服(I)、あらかじめ成就(P) 2 先に現場を見るようになる。 3 神様が先に準備しておかれたこと(弟子)が見える。 □本論_実際の答えの始まり 1. 使 2:1-4 祈りの流れ 1) 神様がくださった課題 2) 神様がくださる課題 3) まことの答えは神様のみことばと世界福音化と祈りの答え 2. 使 2:14-21 みことばの流れ 1) 永遠の問題と答え-サタンから出てきた 12 の問題、解決はキリスト 2) 教会が逃したこと- 5つ 3) 今日-成就するみことばだけが答え 3. 使 2:9-11 伝道の流れ 1) 学業と産業の水準は 237-5000 2) RT、TCK、CCK、NGK と合わなければならない。 3) その時刻表の中にいるようになる。五旬節の日になって、わたしは主。時がくれば速やかにそれをする。 4. 使 2:17-18、46-47 現場の流れ 1) 聖霊の導き 2) 聖霊の働きでネフィリムを砕く 3) 聖霊の実で持続 5. 使 2:10 一つの国の流れが見える。 1) マタ 28:16-20 弟子 2) マコ 16:15-20 癒やし 3) 使 1:1-8 皆さんに与えられる本物の力-ただ聖霊によって。これでこそ世界福音化できる。 □結論_未来が見え始める 1. 7 やぐら祈り-成就するみことばが臨むと未来が見える。 2. 7 旅程祈り-みことばが成就する。 3. 7 道しるべ祈り-まことの復興が起こり始める

2025 第 1, 2, 3 RUTC 永遠の答えの始まり (33) (社)世界福音化伝道協会 www. weea. kr		
2025 年 8 月 17 日 週間祈りカード		
△区域メッセージ第 33 週/4 部世界を生かす見張り人 やぐらを建てなさい(イザ 62:6-10)	△聖日 1 部 正確な契約を持った人々(ダニ 1:8-9)	△聖日 2 部/神殿建築献身礼拝 神殿建築は答えを先に受けること(Ⅰサム 16:13)
多くのレムナントが家庭と周囲の状況で困難にあう。どのようにすべきなのか。イエス様が答えを与えられた。奥義やぐらを建てなさい。すると、未来の心配をせずに済む。どんな問題が来ても大丈夫だ。証拠、250 年間、迫害を受けたのに大丈夫だった。やぐらを祈りで、みことばで作ることができる。このようにする理由は何か。 □序論_ネフィリム 私も知らない間にネフィリムやぐらが建っている。 7 やぐら-最も鍵は「完了した」御座の背景でともにいる。 7 旅程-一番重要なのは一生の答えを味わうキャンプだ。キャンプは光を放つことだ。ほかの人も生かして、私自身も生かす。 7 道しるべ-一番重要な答えはローマだ。ここに行けば 237 が来ていて、237 に行けば 5 千種族が来ている。TCK が 5 千種族の道だ。これから大きな危機は伝染病だ。そのすべての原因が 5 千種族からみな来る。多くの資源も 5 千種族にある。 1. RT7 人はこの答えを受けて、237-5 千種族に行った。 2. ヨケベデ、ハンナ 3. Ⅰサム 7:1-15、16:1-13 サムエルとダビデがこれを見たのだ。 Ⅰサム 17:1-47 ペリシテの將軍ゴリヤテがきて自分たちが崇拝する神の名でイスラエルとダビデを呪った。それとともに「主を信じる者」出てこいと言ったのだ。それゆえダビデが「私はおまえがなぶる万軍の主の御名でお前に立ち向かう。おまえの命が主にある、救いは剣にはなく、主の御手にあることを証明する」と言った。 □本論_この契約を味わえば来る三つのこと 1. プラットフォーム個人と産業にプラットフォームが作られる。 1) 7 やぐら 最も重要なのが 7 やぐらだ。やぐらがあってこそ人が来る。 2) 300%が出てきて、ほかの人と未来を生かす 300%の答えが与えられる。 3) 記念碑 次世代まで生かす記念碑の祝福がプラットフォームとして来る。 2. 見張り台 このときから、ほかの人を生かすようになる。 1) 7 旅程 光があってこそ光を照らして旅程に行く。 2) Healing すると暗やみにいる人を治すようになる。 3) Summit ほかの人を生かすようにこの光を照らすのでサミットになる。 3. 御座のアンテナを分かってこそ、祈りが何かが分かる。 1) 7 道しるべに行くことだ。 2) 絶対やぐら カルバリの丘からローマまで建てることだ。 3) それゆえ、私が、私の家が MH で、地教会で、RUTC だ。 □結論_ 237、5000、TCK このやぐらを建てれば来る祝福が 237、5000、TCK だ。私たちの中にあるいのちの光は全世界と通じるようになっている。	□序論_生きて働くみことばを握りなさい-礼拝と祈りの基準 1. 神様のみことばでサタンを退けたイエス キリスト(マタ 4:1-11) 1) 肉的なこと 2) 名誉心と自尊心 3) 礼拝対象を(礼拝)変えるという試み 2. 歴史的な例-生きて働くみことばを握って勝利した人々 1) ロックフェラー 2) ワナメイカー 3) リンカーン(ガラ 3:28) 4) ジョン・パニヤン(天路歷程) 3. 聖書の例-生きて働くみことばを握って勝利した人々 1) ヨセフ-生きて働くみことばを握ったが行く所ごとに働き 2) ヨケベデ-生きている契約のみことばを持ってモーセを王宮に送った。 3) モーセ-血のいけにえをささげに行きなさい。 4) ヨシュア-カナンの地をすでに与えた。あなたとともにいる。 5) 遊女ラハブ-噂を聞いて、生きて働くみことばを握った。 6) エレミヤ-生きている神様のみことばが臨んだ。 7) ダビデ-生きて働く神様のみことばが成就を握った。 △私が礼拝をどのようにささげて、六日間どのようにしなければならないのかをキャッチすべきだ。 □本論_捕虜になったときに心を定めたダニエル 1. 成就する契約を握った-インマヌエル(イザ 7:14) 1) レムナントが起きて回復することになる(イザ 6:13) 2) 永遠に働くみことば(イザ 40:8、31) 3) みことばの力(イザ 43:18-19) 4) 起きて輝け(イザ 60:1-22) 5) 見張り人(イザ 62:6-12) 2. 成就する場所と時刻表を握った。 1) エジプト時代大きなわざわい、危機のとき-みことばの力が臨む働き 2) ペリシテの攻撃-生きて働くみことばの中でダビデが現れて打ち碎いた。 3) アッシリアの侵略-みことばの力が働くように祈ったヒゼキヤ(Ⅱ列 19:35) 4) アラムの攻撃-生きて働くみことばが宣言されるドタンの町で、戦わずに勝利したエリシャ(Ⅱ列 6:8-23) 3. 成就した契約の中にいた-イザヤのみことばを聞いて力で満たされた人々 1) 偶像にお辞儀をすることができないといったシャデラク、メシャク、アベデ・ネゴ(ダニ 3:16-18) 2) 普段から祈ってみことばの力を味わっていたダニエル(ダニ 6:10-22) 3) エステル(エス 2:10、4:14-16) □結論_生きて働くみことば 1. 貧しさ、無能、病氣-神様の契約のみことばが働くように挑戦した。 2. 困難-神様の生きて働くみことばが整理→世界福音化が起きた。 3. これから生きて働くみことばを握りなさい-5 千種族 △あきらめてはならない。私の考えで霊的なことを制限してはならない。	神殿建築という契約を持った者には答えが先に与えられる。世界福音化と神殿建築は神様が完成させておられるが、私たちが世界福音化と神殿建築にどのように参加して祈るのが重要だ。 □序論_ダビデにミッションが与えられたその時から<u>主の霊</u>が激しく下った。 1. 三位一体の神様の霊 2. 御座の力がダビデに臨んだ。 3. すべてに勝利するようにされた。4. すべてのこと-答えだった。 5. WIOS 6. OURS 7. やぐら、旅程、道しるべをダビデにくださった 1. 生きて働くみことばのミッション(正確な契約)を受けた 2. 時代のミッション 3. 個人のミッション(神殿建築)を与えられた □本論_この日以来-正確なミッション握って決断を下した日 1. 神殿祝福の流れを見るようになる。 1) 三つの祭りから始まった流れ(みことば、祈り、世界福音化の流れ)を見たこと。救い、御座、聖霊の働きをいつも味わえば、働きが起る。 2) 幕屋中心運動 3) 契約の箱-永遠の神様のみことばが記録されている石の板、マナが入った壺、アロンの芽が出た杖(みことばを握って礼拝するとき、いのちが出てくる) 4) 御座の力が現れる至聖所の中に契約の箱を置いた 5) キリストのすべての恵みを説明する契約がある聖所 △キリストの御名で至聖所に入ることができる驚くべき契約が与えられたのだ。 2. 力体験 1) 詩 78:70-72 世界福音化の契約を握る瞬間、次世代にダビデに与えられた未来を植えてくださる。 2) Ⅰサム 16:1-13(油)-聖霊の満たしを注がれた。 3) Ⅰサム 16:23 ダビデが賛美するとき、悪霊が逃げ去る 4) Ⅰサム 17:1-47 簡単にゴリヤテに勝った。 5) 詩 23:1-6 苦難を十分に勝ったダビデ-主は私の羊飼い、乏しい x △生きて働く神様のみことばを持って六日間現場に入ること 3. 一生の答えが始まった。 1) ダビデの町を完成(Ⅱサム 5:7) 2) 契約の箱をダビデの町に移す(Ⅱサム 6:1-23) 3) 1 千のやぐらを建てた。 4) 神殿準備(3 つの庭)(Ⅰ歴 29:10-14) □結論_<u>創 1:3</u>創造の力で続いて働かれる契約を握りなさい。 1. Ⅰサム 16:1-13 「一生の決断」を下した 2. Ⅰ歴 29:10-14 「一生の献金」をささげた 3. 次世代のための一生の準備 ※生きている今日のみことばを握らなければならない。 △次世代と世界のために三つの庭を準備しよう。契約だけ握れば良い。その結果は神様にささげれば良い。ダビデは初めから神殿準備をミッションとして握った。それゆえ一生重要な答えを受けた。